

# 水津川市

第6号

## 議会だより



本会議	2 ~ 3	清掃センター建設特別委員会	12
決算特別委員会	4 ~ 5	研修報告	13
条例制定・決議など	6 ~ 7	組合議会報告	14 ~ 15
補正予算特別委員会	8	一般質問	15 ~ 27
常任委員会	9 ~ 12	わたしの意見	28

かわいく、元気に  
(棚倉小学校運動会)

# 合併効果あり

## ～木津川市初の決算～

### 議論白熱、夜10時半まで

9月定例会が、9月8日から10月2日まで5日間の会期で開催。決算認定11件、議案20件、同意1件、発議7件を審議した。新庁舎での初めての議会である。

#### 一般会計決算

合併一年目は、旧三町継続の事業。収入214億5877万円。支出211億2672万円。貯金は1003億3千万円。借金（地方債および債務負担行為額）は374億7千万円の決算となった。

**Q** 合併効果はあったか。  
**A 市長** 市になったイメージアップの効果は大きく、19年度決算は健全財政だった。しかし、8年後には交付税が10億円近く減る。さらなる行財政改革で合併効果を目指す。

**Q** 滞納額が増えている。住民負担・高齢者負担・貧困と格差の広がりにも、どう対応するのか。

**A 市長** 税の負担の公平性から、滞納者へは税の分割納税などをすすめる。子育て支援や中小企業への援助など、今後も検討していく。

**Q** 将来負担比率87・3%の結果が出た。80%を超えているのは、厳しい数字だと思う。どう考える。

**A 市長** 事務事業のさらなる仕分けをする。今後議論も必要。

#### 反対討論

投資的経費を大幅に抑えて基金（貯金）を増やした形の内容で、住民にとつての合併効果が見えない。選挙公営の監査結果も出ていない段階であり反対。 呉羽真弓

賛成多数で認定  
(賛成20人・反対5人)

#### 国民健康保険会計決算

#### 反対討論

第一に課税限度額を56万円へ大幅に引き上げたこと、第二に統一準備として大幅値上げをしたこと。市民負担を増やしたもので反対。 酒井弘一

賛成多数で認定

(賛成21人・反対4人)



新しい議場で



# 財政的には



新庁舎ロビー

## 介護保険会計決算

### 反対討論

保険料の値上げと制度改悪で「介護の取り上げ」が進んだ。高齢者は大変。介護の必要性より、いくら払えるかで受けるサービスを決める状況だ。

宮嶋良造

賛成多数で認定  
(賛成21人・反対4人)

## 水道事業会計決算

### 反対討論

大型事業である二件の配水池築造工事について入札結果などから、疑問があることを指摘してきた。現段階においても払拭できていないので反対。

呉羽真弓

賛成多数で認定  
(賛成23人・反対2人)

## 監査報告

財政指標から見て一般的に健全化が進んだ。

旧町単位の事務事業等を整理し統合が進んだ。今後、行政システム全体のマネージメントシステムの確立と更なる改善を望む。合理化やサービスの向上にむけて、時代の変化に即応できる組織を目指すことを期待する。

## 一般会計補正予算

収入支出予算の総額に10億6248万円を追加し、総額237億6248万円とするもの。

新設給食センター基本設計委託料(泉川中学校敷地内)3445万円が提案されたことに對し、

今までの計画と違つとの意見が続出し、議会が一

時中断する事態になった。  
Q 6月議会の答弁と違

い、早くなったのはなぜ。  
補正予算特別委員会の審査や文教委員会での質疑を経た後、全員賛成で可決。

設計委託料が高い。積算根拠は。  
A 教育部理事 府のマニユアルに従つての積算。

A 教育部長 児童数の急増により、給食調理数が不足する事態となつたため。

## 条例改正

### 職員の駐車場を有料に

本庁には職員の駐車場はなく、支所などの駐車料金は正職員が月額2000円。非常勤嘱託職員1000円と設定。

全員賛成で可決

### 休園していた恭仁保育園の廃止

埋蔵文化財センター分館(仮称)にするため。

全員賛成で可決

木津川台7号緑地を公園から削除

「同志社国際小学校(仮称)構想」で木津川台中学校予定地の後背地にある緑地を譲渡するため。

### 反対討論

同志社小学校誘致に係る財産の譲渡手続を進めるための改正。誘致の具体的数値メリットが見えず、教育格差の拡大を懸念し反対。  
呉羽真弓

賛成多数で可決

(賛成24人・反対1人)

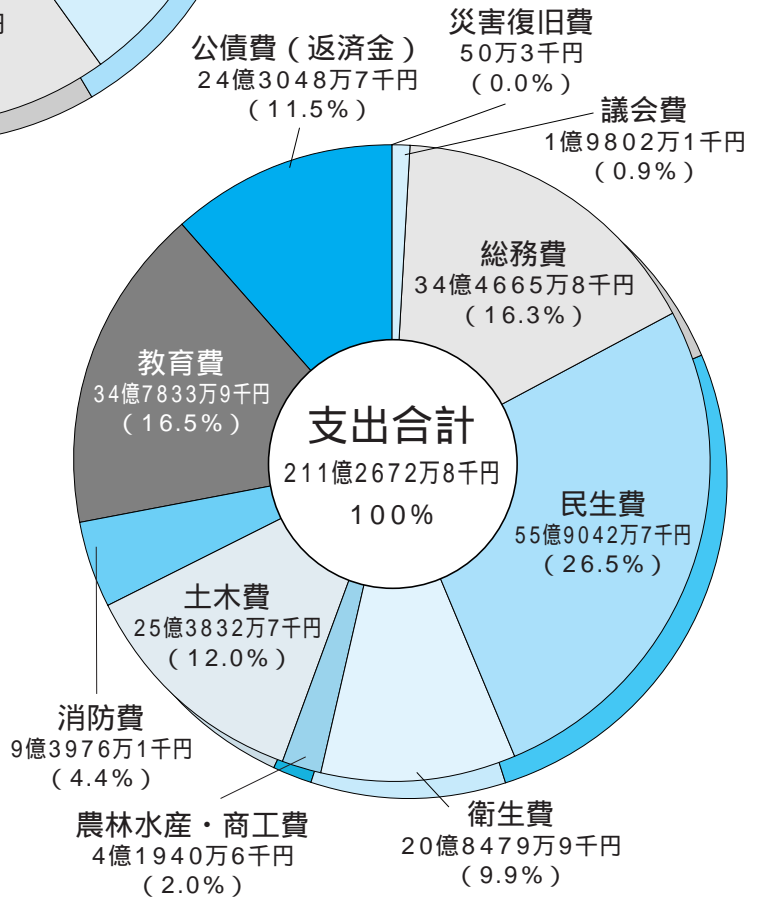
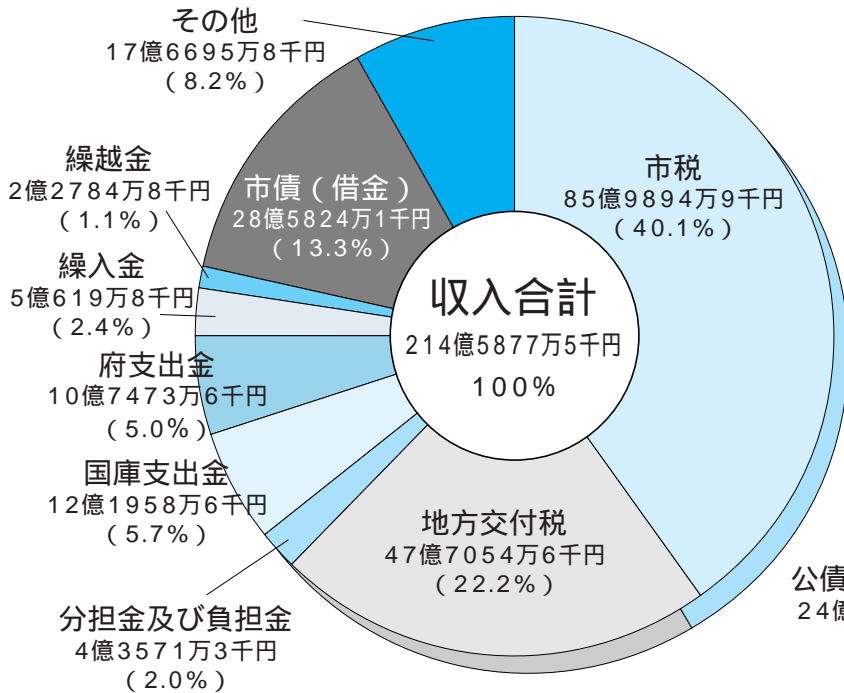
# 19年度初の市決算を審査

## 決算特別委員会

決算特別委員会は、議長・監査委員を除く24人で構成。

委員長・島野均、副委員長・阪本明治を選出し、9月29日から10月1日の3日間にわたって一般会計決算を審査。

18年度は旧3町の持ち寄り決算だったが、19年度は初の市決算となり、合併効果などについて活発な質疑があった。賛成多数で認定した。



この子たちの未来のために

## 特別会計

特別会計名	収入額	支出額	特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	52億7131万6千円	50億1893万6千円	簡易水道事業	1億3485万3千円	1億3436万7千円
老人保健	44億6825万8千円	44億6820万7千円	4財産区合計	4550万7千円	4401万1千円
介護保険	29億7000万円	28億7762万3千円	水道事業	29億6218万5千円	27億1512万7千円
公共下水道事業	27億5927万1千円	27億2688万5千円			

主 な 質 疑

市長公室・総務部

Q 基金繰入金が当初予算から大きく減額されているが要因は。

A 総務部次長 人件費や物件費などが減少し、財政指標も好転している。入札改革や合併効果が表れたと考えている。

Q 市税の滞納金額が増加しているが対策は。

A 収納対策課長 大口滞納者には、府と共同徴収に取り組んでいる。また、督促状の送付、訪問、納付相談を行い収納率の向上に努める。

Q 生活保護など多くの事務が移譲されたが、それに見合う財源の移譲はあったのか。

A 財政課長 交付税ベースでは増加しているが、事務量増加分には見合っていない。

Q 学研都市土地開発公社が抱えている土地をど

う利用するか。

A 財政課長 道路用地などの特定目的をもって

いるので、事業計画が整えば買い戻す。計画が遅れている場所もあるので、再度評価し、売却も含め方針を検討する。

生活環境部・保健福祉部

Q ごみの分別、減量化は進んでいるか。

A まち美化推進課長 一人当たりごみ量は府下トップクラスで減量している。今後も減量化に向けた啓発を行う。

Q 保育園の正職員が少

ないが、子育て支援対策からみて問題はないか。

A 保健福祉部長 正職員は4割弱。定員計画の中で対応していく。21年度に若干採用する。また、研修を積んだ臨時職員、嘱託職員をクラス担任とし、正職員をフリー保育士として配置している。

建設部・教育委員会

Q 小・中学校のパソコンに新旧格差が生じているが対応は。

A 教育総務課長 各校の要望により整備してきたが、契約方法・機器が異なっているため、今後順次必要な整備をしていく。

Q 社会教育施設の指定

管理者制度の活用は。

A 社会教育課長 今後利用団体の意見も確認し、施設のあり方について社会教育委員会で検討していく。

Q 昨年一年間の入札結

果をどう感じたか。

A 建設部次長 19年度は旧3町の方式で行った。指導検査課全体で136件、うち建設工事96件の入札を実施した。平均落札率は81・6%、最高95・9%、最低66・1%。19年度を踏まえ入札改革を行っている。

反対討論

賛成討論

Q 農業振興を図るため、農地の遊休地を利用して、ふれあい農園の拡大を。

A 農政課長 ふれあい農園は特定農地貸付法に基づき。現在遊休地の実態調査をしている。調査を踏まえて農業振興と農地の保全対策を検討する。

合併でサービスが低下。不要な同和関連支出や進出企業への4860万円の補助金。一方保育園・幼稚園は不足。税金の使い方が間違っている。

宮嶋良造

合併効果がわかるのはもう少し時間が必要だと思つ。

基金の繰入れも少なく済んだ、毎月100人の人口増企業誘致も順調、行財政改革の効画が出ている。

尾崎輝雄

賛成多数で可決  
(賛成19人・反対5人)

合併前に提示された財政計画と比べると、投資的経費が大幅に抑制された内容。監査請求や新設もしており、反対。

呉羽真弓

人件費・物件費の削減、入札改革の断行などで、財政健全化の第一歩が印された。また、財政健全化法による数値の黒字を評価する。

深山國男

平成19年度一般会計の主な事業

庁舎建設事業	4億8483万円
コミュニティバス運行事業	8197万円
基幹業務システム等導入事業 後期高齢者システム導入・保守・改修など	2億3258万円
生活保護費支給事業	3億7210万円
ごみ処理事業	8億7315万円
民間保育所施設整備補助事業	1億3827万円
北綺田ほ場整備事業	5636万円
木津駅前土地区画整理事業	4億5801万円
木津駅改築事業(完了)	3億4016万円
公共下水道事業特別会計繰出金	8億7890万円
州見台小学校用地取得費	13億90万円
(千円以下は切り捨て)	



# 条例制定・決議・意見書(要約)

本会議で、議員提案された条例・決議・意見書などについて、すべて可決した。

全員協議会を正式な議会活動と位置づける

提出者

議会運営委員会  
委員長 中谷 裕亮

任意の会であった全員協議会を会議規則に位置づけ、会議録の作成や傍聴が可能となった。

Q 自治法に根拠を持つ議会運営委員会との違いは。

A 議会運営以外の協議の場である。

全員賛成で可決

基本計画も議会の議決事項とする条例が成立

提出者

西岡 政治  
賛成者 曾我千代子  
尾崎 輝雄  
宮嶋 良造  
中野 重高

市行政に係る基本的な計画の策定を議決事件にすることに、議会が積極的な役割を果たし、行政と共に市民に対する責任を担いながら、市民の視点に立った行政推進をするため。

第1条 行政に係る基本的な計画を議会の議決すべき事件として定めることにより、策定段階から議会が積極的な役割を果

たし、市民の視点に立ち、自主性に富んだ市政の推進に寄与することを目的とする。

第2条 基本計画を策定変更するときは、議会の議決を経るものとする。



庁舎から望んだまちなみ

Q 総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の三部構成。実施計画まで含めない理由はなぜか。

A 実施計画は、毎年見直しが必要とされるため含めなかった。

全員賛成で可決

仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)のとれた社会の実現に向けた決議

提出者 中野 重高  
賛成者 尾崎 輝雄  
宮嶋 良造

わが国の社会は、安定した仕事に就けず、経済的に自立できない不安定雇用が増大している。過酷な労働環境のもと仕事に追われ、健康を害する労働者が増加するなど、様々な課題に直面している。

働く人たちの心身への影響、育児や介護などの家庭生活との両立の困難

さ、地域社会の担い手不足、少子化の進展など多くの課題にも波及し、大きな社会問題である。

国では「ワークライフ・バランス憲章」「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定され、政府の少子化対策会議にも「仕事と生活の調和の推進」が位置付けられた。

本市においても、特性に十分配慮しつつ、ワークライフ・バランスのとれた社会の実現に向け、「京都」ならではの取り組みを積極的に推進すべきである。

Q 可決すればどのような具体策が考えられるか。  
A 今後、木津川市の次世代育成支援行動計画の中で進めていくことができる。

全員賛成で可決

地方の道路整備のための  
財源確保を求める意見書

提出者 尾崎 輝雄  
賛成者 山本 喜章  
中谷 裕亮

道路は、地域経済の活性化と、住民の生活環境を図る上で最も基礎的な社会資本。道路網の整備は、活力と魅力ある地域、安心・安全で快適な環境づくりに必要不可欠。

市の道路は、交通安全・防災・環境対策や国道24号と163号の重複区間の慢性的な渋滞の解消など、多くの課題が残され、道路整備に対する住民の要望は切実である。本市においては必要な道路整備を推進するために、道路特定財源に加えて多額の一般財源を充当してきた。こうしたなか、国では基本方針が閣議決定され、平成21年度から道路特定財源を一般財源化することとされている。よって、地方における道路整備の高いニーズを

踏まえ、引き続き真に必要な道路整備の推進を図られるよう強く要望する。

1 一般財源化に当たって、地方の実情に十分配慮し、真に必要な道路整備を遅延することがないよう、必要な財源を十分に確保し、地方への配分を高めること。

2 地方の自主性・裁量性を生かし、地方道路整備臨時交付金を継続、または、同等の代替制度を確立すること。

Q 一般財源化は妥当と考えるか。地方道路整備臨時交付金と一般財源化は相反すると考えるか。新名神は必要と考えるか。  
A 一般財源化は良いと思う。道路整備の交付金は必要。新名神は、国・府の方針に従う。

賛成多数で可決

(賛成20人・反対5人)

関係機関に送付する

社会保障費を毎年2200億円抑制する方針の撤回を求める意見書

提出者 宮嶋 良造  
賛成者 炭本 範子  
村城 恵子

政府は「骨太の方針」で、平成19年度から23年度までの5年間で、社会保障費の伸びを1兆1000億円削減する方針を出した。

一方、診療報酬や生活保護費は、平成14年以降毎年2200億円抑制されてきている。

その結果、国の社会保障国民会議の中間報告でも、少子高齢化対策の遅れ、高齢化の一層の進行、医療・介護サービス体制の劣化、セイフティネット機能の低下、制度への信頼の低下などが指摘される事態となっている。

国民の社会保障制度に対する信頼を回復し、国

民誰もが安心して生活できるようにするため、社会保障費2200億円抑制の方針を撤回し、社会保障費予算を十分に確保するよう強く要望する。

賛成多数で可決  
(賛成14人・反対11人)  
関係機関に送付する



渋滞の解消を

公的年金からの住民税徴収を一律に特別徴収としないことを求める意見書

提出者 宮嶋 良造  
賛成者 伊藤紀味枝  
森岡 譲

地方税法等の改正で、平成21年10月より、公的年金から個人住民税が特別徴収(天引き)となる。

すでに、介護保険料、後期高齢者医療保険料が特別徴収され、さらに今年10月から国民健康保険税も特別徴収となった。

政府は、年金受給者の生活に配慮して、後期高齢者医療保険料と国民健康保険料の一部普通徴収(口座振替)の選択制を実施している。

個人住民税も同様に普通徴収を選択できるようにすべきである。

賛成多数で可決

(賛成14人・反対11人)

関係機関に送付する

# 給食センター設置決まる

補正予算特別委員会

9月17日補正予算特別委員会を開会。予算総額に10億6248万6千円を追加し、237億6248万6千円とするもの。給食センター設計予算に質問や意見が続出したが、審査の結果、3人が退席し、全員賛成で可決した。

## 主な質疑

**Q** 新設給食センターの運営方法は。

**A** 教育部長 木津南地区の2小学校、泉川中学校、新設中学校を予定し、2500食規模で考えている。加茂地域の小学校は自校方式で行っているが、施設も老朽化しているため、今後センター方式を検討する。

**Q** 泉川中学校のテニスコートを壊すくらいなら、他に場所はなかったのか。  
**A** 教育部長 木津南地区や他の市有地の検討も行ったが、形状や面積等を勘案した結果、この場所ですでに決定した。

**Q** 教育委員会ではどういった検討をしたのか。教育委員はこの件を知らないという話を聞いたが、手続きに瑕疵はないか。

**A** 教育部長 教育委員会には新聞で発表された後に、報告している。教育委員の議決事項ではないと考えている。

**Q** 合併協議で泉川中学校の給食は山城給食センターで対応できるという話もあったが、なぜできなかったのか。  
**A** 教育部長 山城は1000食規模で現在750食、泉川中は350食必要であり対応できない。

**Q** 区画整理事業が遅れているが現状は。

**A** 木津駅前整備事務所 長 木津駅完成が2年遅れた影響もあり、3年くらい伸びると考えている。

**Q** 電算システムの変更委託料は、年金から住民税、後期高齢者保険料を徴収するためのものか。また、希望により口座引き落としも可能か。  
**A** 税務課長 システム変更に住民税は含んでいる。後期高齢者医療については、選択制の見直しは承知しているが、税については現時点で選択制への見直しはない。

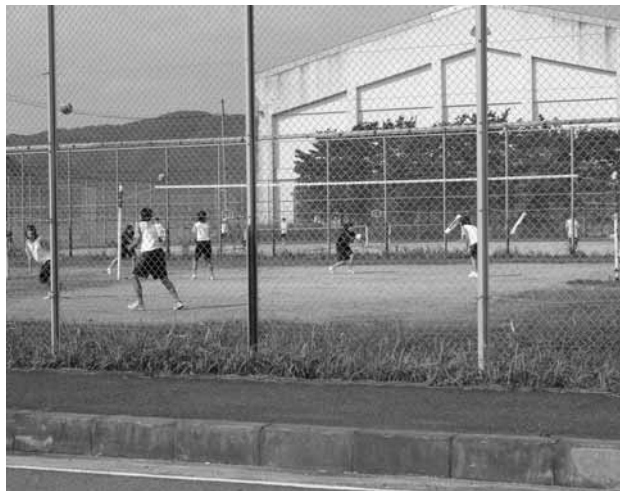
**Q** 今年度はどの部分の繰上げ償還を行うのか。  
**A** 総務部次長 今年度は6%以上の借金はすべて繰上げ償還をおこなう。

**Q** がん検診委託料が増加している理由と、今後退職者の増加による動向は。  
**A** 健康推進課長 受診者が昨年度より、2900人増加した。市民の健康意識の向上や周知の充実に努力した結果と考える。来年度も人口動態や受診者数の伸びを勘案して予算計上したい。

全員賛成で可決  
(賛成9人・退席3人)

## 主な補正内容

- 電算システム変更委託料 1711万円
  - 税源移譲に係る所得間格差是正還付金 6621万円
  - 生活保護扶助費 6299万円
  - 新庁舎周辺街路拡幅整備事業 2億74万円
  - 木津駅前土地区画整理事業費 2億5299万円
  - 学校給食センター基本設計業務委託料 3445万円
  - URへの関公費の繰上償還金 3億952万円
- 千円以下切り捨て



隣接で給食センター建設（泉川中学校）

委員	副委員長	委員
織田 廣由	出栗 伸幸	伊藤 紀味枝
大西 宏	梶田 和良	宮嶋 良造
曾我 千代子	村城 恵子	片岡 廣
深山 克伊	阪本 明治	中野 重高



# 常任委員会の取り組み

## 市職員 駐車を 有料化

### 総務委員会

9月9日に委員会を開き、6件の議案について審査を行った。認定・議案すべてを賛成で可決。

### 全議案可決

#### 職員駐車場の条例制定

**Q** 水道事業所等出先機関は、通勤に車は必要だ。また停める場所も多くあるのにお金を取ることに疑問がある。

**A** 本庁と本庁以外の職員の公正な取り扱いを検討し、公共施設に停めた場合は料金を徴収する。組合の理解を得ている。

**Q** 公共の駐車場を使用している場合、中継地6カ所の駐車場も含めて徴収するのか。保育園・幼

#### 稚園職員の適用は

**A** 議決されれば、正職員2千円、10日以上駐車する嘱託職員千円。対象人数は、上下水道、保育園・幼稚園含め182人、嘱託職員は59人。

**Q** 駐車場の借地料は。また、面積や台数はどれくらいか。

**A** 現在借地しているのは、木津警察署東側の130㎡で年間96万円、正覚寺横の2000㎡のうち50台分が200万円。加茂支所の西側2178

㎡で221万円、東側908㎡で98万円。今回の補正は、警察署東側の隣接地で駐車台数60台分154万円を計上。

**Q** 新庁舎周辺の来客用駐車場、公用車駐車場の設置・管理などについて考えは。

**A** 旧庁舎を取り壊した段階で70台、北別館で25台、警察署東側20台、合計115台の来客用駐車場を確保したい。

旧庁舎の解体工事が終わるまで、ガードマンを配置し、来客者の安全のため、誘導や案内をする。

#### 旧北村・旧菟並村・旧里村財産区特別会計の補正

**Q** 行政で提案されている交付金の関係と自治振興費のすみわけをどう捉

えたらいいのか。

**A** 財産区の自治振興費については、行政の交付金とは別である。財産区内の事業を行うために、財産区の承認を得て事業基金を活用している。

#### 木津南地区 住所の表示変更

**Q** 区域の設定により、住民に新たな手続きや負担が生じないか。

**A** 区画整理事業で、換地処分の日から効力が発生する。木津南地区は通称名では梅美台・州見台としていたが、大字小字の形式から正式に変更されるので、免許証切り替えや銀行などでは手続きが必要。今後、広報・ホームページなどで周知する。

#### 公社定款の変更

**Q** 公社の現在の業務として、学校建設や耐震補強工事ができると言われたが、確認したい。

**A** 以前に山城学校建設公社が先行取得をして建て替え施工するという制度があった。人口急増時

には宇治や八幡、乙訓地域で活用していたが、現在は学校建設の必要性が薄れ、一定整理し土地開発公社に統合された。用地取得を伴う場合は、建設や耐震補強に活用できる。



庁舎駐車場

# 恭仁保育園を文化財センターに

## 厚生委員会

9月10日に委員会を開き、認定3件、議案4件について審査を行った。すべての議案を可決。

**全議案可決**

### 保育所条例の改正

休園している恭仁保育園を、埋蔵文化財センター1分館(仮称)に用途変更。

全員賛成で可決

### 国民健康保険決算認定

収入52億7131万円、支出50億1893万円の認定。加入世帯数は19年度末で9926世帯、被保険者数1万9525人。老健分をのぞく1人あたりの診療費の平均は23万6802円。

### 反対討論

住民負担を増やしての国保会計であった。格差や国保に対する国の責任の認識を欠いているので反対。  
宮嶋良造

賛成多数で認定

(賛成4人・反対1人)

### 老人保健決算認定

収入44億6825万円、支出44億6820万円の認定。対象者5425人で、1人あたりの年間医療費の平均は、81万9600円。

Q 負担が増えたために受診が抑制されているのではないか。

A 対象年齢を70歳から75歳に引き上げたことにより、対象者数の減が原因と考えている。

全員賛成で認定

### 介護保険決算認定

収入29億7000万円、支出28億7762万円の認定。

Q 21年度からの計画では、保険料は上がるのか。  
A 保険料は、段階を7段階からさらに細分化することを検討。サービス

量が増えると保険料も上がるが、未だ試算はできていない。策定委員会で意見を述べていきたい。

Q 介護予防の観点から、アンケートを工夫する必要はあるのでは。

A 特定高齢者を把握する必要があるので、やはり方は検討する。民生委員・社会福祉協議会の協力を得て進めている。

### 反対討論

法の改悪によって負担増になり、さらに合併による保険料の統一で高齢者の負担が増えた。  
宮嶋良造

賛成多数で認定

(賛成4人・反対1人)

### 国民健康保険補正予算

Q 70歳を節目ドックにしているのはなぜか。

### 後期高齢者医療補正予算

Q 増額の理由は何か。

A 検診事業に掛かるもので当初は、9500円で1200人分を見込んでいたが、検診料・受診者とも大幅に伸び、1万8000円で1700人分に見込額を変えたことによる。

全員賛成で可決

75歳になると後期高齢者医療に入るので、必要ではないのか。  
A 近隣でもしていない。コスト面で難しい。運営協議会の意見を聞いていきたい。

全員賛成で可決



新しい役割担う(恭仁保育園)







# 木津給食センター コンテナ洗浄機 買い替え

文教委員会

9月16日に委員会を開き、議案1件について審査を行い、全員賛成で可決。また、教育委員会より、学校給食センター建設計画に関する報告を受け、質疑を行なった。

議案可決

「コンテナ洗浄機」の  
買入れ

名称 コンテナ洗浄機  
金額 2992万5千  
円(税込)

落札者 ㈱アイホー京都  
営業所

Q 調理能力は6千食では。入札項目の内容は。  
A 6千食は、開設当初の最大能力。0157の発生以降、保管庫の必要性から調理スペースが狭くなり、現在は5千食。入札内容は、下部の荷台から上部コンベアなどすべての取り替えが必要。

Q 機器の耐用年数は。  
A 明記された年数はなく、使用方法により変わる。今回は、修理ではおさまらなかった。

Q 予定価格の試算の方法は。  
また、入札業者の選定方法は。  
A 予定価格は、旧の設置業者に積算依頼した。入札の3業者は、厨房機器専門の業者で、公募により参加。一般競争入札で行なった。



新しくなるコンテナ洗浄機

Q 落札業者が、積算依頼した旧の設置業者であり、公平性・透明性に問題がある。  
A 特殊な工事の入札で、高度の専門的知識が必要ことから、予定価格の積算を外部に依頼した。結果としてそうだったが、公募による参加募集や一般競争入札の方法で実施しており、適正で、妥当と考える。

9月18日に清掃センター建設特別委員会を開き、建設を予定していた中央地区での計画を断念した後、市は現清掃センターのある北稻八間区と「平成21年3月31日までに建設計画を提案する」との覚書を交した。  
現在は、庁内にプロジェクトチームを立ちあげ、建設に向け協議を進めている。  
生活環境部長より、8月12日開催の第7回プロジェクトチームでの協議内容、8月20日開催の西部塵埃処理組合議会研修会の報告などを受け、質疑を行った。

Q 候補地について具体的にどう考えているのか。  
A プロジェクトメンバー10人は多い。3人から5人の専属ですべきで兼務は納得いかない。



老朽化した打越台環境センター

A 木津川市内の2ha以上の公共用地で検討しながら、対象を広げていく。  
大詰にきているので役割分担し、総合戦力でいく。

Q 相楽圏内で1施設と方針を決められているが具体策は。  
A 行政の答弁がバラバラである。奈良市に足を運び、真剣に取り組むべきである。  
相楽圏内で1施設と決まったが、具体化していない。  
奈良市の情報収集に努め、議会に報告する。

清掃センター建設特別委員会

## どうなる清掃センターの建設

研修報告

下水道事業見直しの先進地に学ぶ

産業建設委員会

7月17日、18日と研修。17日は岐阜県瑞浪市に下

水道事業を研修。公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の三つで下水処理を行っており、平成10年の行財政改革で、多額の起債などが生じる公共下水道基本計画を見直し、計画面積1400haから1200haに縮小した。集落の密集度が低く、一戸当たりの費用単価が高いので、公共下水道にそぐわないという理由だった。

公共下水道が合併浄化槽かの今後の判断は、耐用年数と、一年毎の事業費の比較などを行い、整備費が一戸当たり80万円を超す場合は合併浄化槽にするということだった。

滋賀県長浜市で中心市街地活性化を学ぶ

黒壁ガラス館、益梅展、浜ちりめんなどで年間20万人の観光客が訪れる城下町。第3セクターで「株式会社黒壁」を設立し、中心市街地の活性化を図り成功した。市職

員が、昼夜時間を割いてまちに出掛け、市民とま

ちづくりの議論をしたことが成功した大きな要因だった。歴史と文化という面では、木津川市と類似しており研修が深まった。



瑞浪市にて

高齢者施設の待機者ゼロ

厚生委員会

7月23日と24日に視察研修を行った。

埼玉県和光市は、人口7万6000人の市で、介護保険料は7万6100円。木津川市の9万4500円と比べるとずいぶん安い。

「地域全体が施設で、自宅が病室だという考え方で、介護サービスを行っている。施設の待機者はゼロである。基本的に施設には認知症以外の方は入っていない」ということで、国の示す計画策定基準とは別に「自分のまちの介護・医療・福祉等に係るニーズを調査・分析」し、「サービスの必要量と供給量を詳細に検討し、全世代に向けてのアンケート調査を実施。

返ってこないところには民生委員に訪問しても

らい、全世代を把握することから始めた結果、的確なマネージメントができ、事業者を効果的に活用するに至った。

ごみ減量化の促進

埼玉県久喜・宮代衛生組合は、久喜市・宮代町のごみとし尿を共同処理するために設立された一部事務組合である。組合

の職員数は事務職17人、現業が18人。

老朽化した焼却炉の建て替えが、地元の反対で叶わず、平成18年から2年かけて大改修を行い、徹底した分別と堆肥化の促進で住民への理解を求め、改修だけを認めてもらったということであった。



久喜・宮代衛生組合にて



# 組合議会報告

## あり方検討委員会を 設置

(国民健康保険)

山城病院組合)

7月10日臨時会開会

議長に岡田勇氏(和束町)、議会運営委員に竹内きみ代氏(和束町)・北猛氏(南山城村)が、監査委員に北猛氏が選任された。

管理者・木津川市長より、介護老人保健施設「やましろ」における採血器具の不適切使用によるお詫びと、整形外科医師問題で医師確保のため府や府立医科大学に対し、医師派遣要望を続けていることの説明があった。

6月23日に行われた「山城病院あり方検討委員会」では、病院や介護老人保健施設の経営状態などの現状と、今後の課題となる公立病院の改革プランや地域医療の役割に

ついて委員会で検討するとの報告があった。

議会選出の検討委員には、岡田勇氏と梶田和良氏(木津川市)が選任された。

病院と介護老人保健施設の19年度収益的決算見込みは、赤字で厳しい状況であった。



山城病院あり方検討委員会

## 茶畑貸付を承認

(加茂笠置組合)

7月15日臨時会開会

副議長に中西恒太郎氏(笠置町)が選任された。

9月2日、第2回定例会開会

決算認定、組合財産の貸付について議論

収入2238万円、支出2148万円で、黒字決算だった。収入の主なものは、線下補償金と基金の利子で、支出の主なものは、基金積立金

### 全員賛成で認定

財産貸付については、個人からの貸付申請に基づき、組合財産を茶畑として貸し付ける内容。

### 全員賛成で承認



加茂笠置組合管理地



## 保険料格差が広がる

8月2日臨時会開会

(後期高齢者医療広域連合)

国の法律改正による減免措置の条例化。「被保険者均等割の7割軽減世帯について、1律8・5割軽減にする。所得割額を負担する被保険者のうち、所得の低い方について所得割額を1律に5割軽減する」という内容。

Q 4月から徴収業務が始まっているが、混乱す

ることはないのか。

A 混乱することはない。すべての業務は広域連合が行い、市町村には発送業務だけを依頼する。

Q 保険料の格差が広がることにならないのか。

A 例えそうであっても、広域連合としてはいかにともしがたい。

## 廃止請願を否決

8月26日に第2回定例会開会。

保険医協会から出された「後期高齢者医療制度

Q 人間ドックは、どこが負担するのかを明確にして、実施に向けて努力して欲しい。

A ぜひそうしていきたい。

## 賛成多数で可決

を廃止するよう求める意見書を国に提出することを求める請願」は賛成10・反対18で否決。

19年度の一般会計決算は、16億533万円の収入で、支出総額は14億8000万円。制度の運営準備にかかるシステムなどの総務費がほとんどであった。

## 賛成多数で認定

一般会計補正予算は、1億2362万円を増額し総額を11億5566万円にするもので、政府与党の決定による特別対策に係る広報経費と、電算システムの経費。

## 賛成多数で可決

特別会計補正予算は、保険給付費のうち、高額医療費を療養諸費から高額医療費への組み替えによるもの。

## 賛成多数で可決

後期高齢者医療制度の問題点を指摘する一般質問が4人の議員から行われた。

その中で、「広域連合の役割はどこまでなのか。さまざまな問題点について、国に対して意見を言う場があるのか」という質問については、「連合長会議の開会を要請しているので、そこで意見を述べていきたい」との答弁があった。

## 効率的な運用で公用車の削減を

### 使用実態の分析で適正化に努める

Q 現在、合併前の各町が保有した公用車(特殊自動車を含む)160台をそのまま引き継いでいる。稼働率の向上、職員の運転による移動の縮減で、公用車の削減はできないか。可能なら限り軽自動車や低公害車へ切り替え、また、効

率的な稼働管理運営を。A 市長 「木津川市公用車適正化検討委員会」を設置し、昨年の使用実績から精査した結果、新庁舎移行当初の台数120台を適正台数とする。

総務部長 公用車管理規程及び運用指針のもと、



伸政会  
中野 重高

低燃費かつ低公害車への買換えを検討する。また、使用実態を継続的に分析し、適正化に努める。

早急に出前講座の開催を

Q 市民と行政の相互理解を進めるため、職員等が講師となり地域に出向き、高齢者に分かり

やすい法制度を、分かりやすく説明できる「出前講座」に取り組み考えは。

A 市長 近隣自治体が実施している事例と効果を十分に調査し、その結果を踏まえ十分議論した上で、制度の導入を判断する。

多すぎないか公用車



多すぎないか公用車

行財政改革の明確なビジョンを

重点事業施策についても見直す

**Q** 行財政改革に数値目標を。

平成21年度予算編成は平成21年度主な課題は行財政改革推進室とは

**A** 市長 重点事業予算を見直す 子育て支援、教育環境の設備、福祉施策の充実、住環境整備、都市基盤整備など

財政基盤の健全化と実践段階の進行管理を行う。

新庁舎周辺整備と他道路

**Q** 新庁舎周辺道路と35号実施計画はパチンコ店北側の拡幅計画は 木津駅東口への道路と木津土木事務所前道路



さくら会  
尾崎 輝雄

計画は 柳生街道から木津南地区の進入道路は。

**A** 建設部長 総事業費4億1千万円で平成23年末完了 計画なし 木津駅東西連絡道路として整備予定 奈良市と協定を結び事業実施。大型車については規制策を検討。

全国学力テスト結果は

**Q** 木津川市のテスト結果、学力向上の取り組みは 就学援助と正答率の関係 市の教育委員会の取り組みは 携帯電話は必要か。

**A** 教育長・教育部理事 市の取り組みは 小・中共に上位であり、さらに指導の工夫改善を図る 本市では表れていない 教師の意識高揚や指導力向上 学校には不必要。

津南地区の進入道路は。計画なし 柳生街道から木津南地区の進入道路は。



庁舎周辺の道路整備は

新制度の選定会は平等な配慮必要

新しい対応が必要か検討中

**Q** 国の経営事項審査改正で市内業者への影響を懸念する。

**A** 建設部長 新制度では審査点を利用。市の総合点を付与し、平準化できるように配慮が必要。副市長 制度の全面的改正で半年が経過し、実績を検証していく。新制度

の審査点により地元業者が不利にならないか検討し対応する。

**Q** プロジェクトチームに期待 本年4月28日広域事務組合構成市町村の環境行政会が開かれ、ごみ焼却場およびサイクル施設広域化計画の具体



イレブンの会  
片岡 廣

化に向け、理事者会で確認書が交わされたが、木津川市と相楽郡は一つだと表現されたと理解してよいのか。

**A** 生活環境部長 確認書は交されたが、場所・処理方法は決まっていない。市の建設計画は、

精華町北稲八間との覚書を基に進める。

**Q** 新行政地域制度で、住民自治を、円滑化・統一化を図る目的としているが、円滑化とスピード化は別の物だ。主旨と明かな理由付けを求め。

**A** 市長 区長会で意見を聞き、考え方などを整理し、よりよい制度となるよう進める。



地元業者にも配慮を





花いっぱいのもちへ

早急に廃屋対策の整備を

関係規則の見直し整備をしていく

**Q** 廃屋対策の重要性は昨年から言い続けている。市内の廃屋から白骨死体が見つかったと聞いた。重要な問題だ。結論は、同じ答弁はしないほしい。

**A** 副市長 関係部署が連携し、解決に向けて検討する。

総務部長 関係機関と調整のうえ、有効な対策を模索していく。  
生活環境部長 関係する規則の見直し整備も含め多面的に検討する。廃屋台帳のような物を整備する計画だ。

木津・既成市街地の再生を

多様な機能が集積する地域へ

**Q** 現位置で新庁舎建設の最大目的は、既成市街地の空洞化防止である。

人間的な魅力ある都市は、街路が狭く古い建物が多く、商業、住宅、文教など機能混在型のコンパクトシティである。周辺部に車を止めてパ

ーク・アンド・ウォークを。歩くを基本に、歩きやすい街路や路地、歩いて楽しい場所に。古いまちの財産を活かして再生を。

**A** 市長 シビックゾーンとして公共機関、文化、福祉、医療、商業など多様な機能が集積す



伸政会 大西 宏

る地域形成を目指す。まちなかは、徒歩を基本に。古い町並みも見直して魅力ある都市へ。

**Q** 庁舎前の市道335号の幅員の考え方は。  
**A** 市長 単に車道を拡幅するだけでなく、歩道も拡幅する。

**Q** 温暖化防止や、まちの魅力向上のため、植栽や鉢植えによる、まちなか緑化の強化を。  
**A** 市長・生活環境部長 広報で啓発する。緑化助成制度は困難。企業への要請や緑化ガイドライン策定を検討する。

**Q** 既成市街地の活性化に向けて、地域住民、商工会、市の推進協議会など仕組みづくりを。  
**A** 市長 検討する。



公明党 織田 廣由

**Q** 山城病院での脳ドックは山城病院での脳ドック検診を多くの人が希望しているが。

**A** 保険福祉部長 山城病院に確認した。MRIなどの検査機器の利用状況は入院患者・外来患者の予約待ちの状況だ。しかし健診事業の充実も

必要と考えている。計画的に受け入れができるよう進めていく。本市としても、態勢が整えば国保の人間ドックの受付を実施していく。

**Q** 学校給食は心配ないか  
**A** 教育部長 平成22年新給食センターを計画している。それに対応できる。

健診センター(人間ドック)  
Health Check Center (Dock of Human Body)



山城病院でも脳ドックを



コンパクトシティを目指して

人に優しいまちづくり



便利になるかコミュニティバス

**Q** 新庁舎の周辺整備は、駐車場の規模は、また、商工会の移転先は、

新庁舎の西南にあるビルなどの跡地は。市道335号は白山宮まで沿道住民に優しい道路整備を。JR木津駅前整備の取り組みは。また、市有地3300㎡の活用は。加茂支所の活用は。

**A** 総務部長・市長公室 長 合計115台

に。商工会は教育委員会跡地や旧京都銀行跡地も視野に入れて検討中である。駐輪・駐車場のほか維持補修用器具倉庫や緊急資材倉庫などを設置。沿道住民や歩行者に優しい道路整備を進める。



伸政会

伊藤紀味枝

**建設部長** 94%の進捗率である。民間開発の誘導を念頭に複合施設的な立地整備を進める。

**加茂支所長** 図書館も選択肢の一つ。

**Q** DV被害者の自立支援を各課に相談しやすしいワンストップサー

ビス・対応マニュアルの作成と、経済的支援の対応を。子どもへの虐待防止策と心身のサポートを。

**A** 市長・生活環境部長 女性センターで対応。各課が連携し、ワンストップサービスで支援する。

**教育部署** クラスの担任が児童の健康状態を含め注視する。虐待は通告義務がある。

教育施設の整備を急げ

きびしい財政ですぐにはできない

**Q** 学研木津中央のまち開きには、必ず小学校を開設せよ。

学校の耐震補強工事、大規模改修、35人程度学級に見合う教室の増設を急げ。

**A** 教育部長 教育施設整備には多大な費用が予想され、新小学校建

設、大規模改修の時期は明言できない。同様に、35人程度学級は実施したいができない。

**Q** 行政区再編は慎重に9月に入って行政区再編の答弁が変わってきたのは納得できない。区長と地域長という二



日本共産党

酒井 弘一

重構造は、市と市民との協働を阻害する。制度案について、区長はもちろん市民の声も聞け。

**A** 総務部長 すでに区長や市民から貴重な意見をいただいている。参考にして取り組む。

**Q** バス改善の実験を前に毎日運行の計画は歓迎。さらに、加茂から木津までのバス実現、バスコースの充実を。

**A** 市長公室長 引き続き、より便利なバスを目指して取り組む。



人に優しいまちに



住民の声を聞いて慎重に

女性にも男性にも住みやすい市を

病児保育に努力する

**Q** 病児保育の実施に  
取り組むべきだ。  
介護・育児休業を男性も  
取りやすいように意識改  
革させるべきだし、取り  
組んだ企業への優遇措置  
も実施せよ。女性管理  
職の登用を進めるべきで  
ある。

**A** 保健福祉部長 医  
師や看護師の協力が  
必要である。市外の病院に  
も当たって検討する。  
市長 職場の環境改善  
の働きかけをする。  
登用に努力していく。

市の横暴で地域力が破壊

過疎化、高齢化に対応する。

**Q** 長い歴史のある区長  
制を骨抜きにし、  
無造作に大小の区を  
十把一絡げに統合する地  
域長制の設置は木津川市  
のおこりであり、横暴で  
ある。いにしえより区民  
の安心・安全・防犯・防  
災に貢献してきた区長中  
心のきずなを無視し、過

疎化高齢化に対応するも  
のだと近視眼的に判断す  
る市は、市民無視の最た  
るものである。区長制か  
ら地域長へ移行するデメ  
リットは計り知れない。  
一、新興住宅地など何千  
人の人口を一まとめにし  
就任した地域長は、絶大  
なる権力を持つことにな

る。  
一、地域のコミュニケー  
ションが薄れ、防犯防災  
などに悪影響を及ぼし、  
やがて地域力が崩壊する。  
一、区長会のメンバーと  
協議、決定で良しと市は  
いうが、毎年代わる区長  
でなく、住民説明会を行

うことが正しい。  
一、毎年代わる区長との  
話し合いだけでは住民軽  
視、議会軽視になる。  
一、一挙に進めるのでな  
く、住民に説明し、段階  
を踏むべきである。  
**A** 総務部長 行財政改  
革に適い、高齢化過  
疎化に対応できる。



イレブンの会  
曾我千代子

**Q** 受診時のルール作りを  
高齢者を別枠にせず  
に、国保を守る方法  
を考えねばならない。

医者への掛かり方や救  
急車の呼び方など、新た  
なルールづくりを作成す  
べきだ。山城病院には  
事務職員を入れるより、  
優秀な医師を増やせ。

**A** 保健福祉部長 マ  
ニユアル作りは難し  
いが検討したい。  
市長 経営改善のため  
に事務職員の増員が必要。

他に「介護認定アルバ  
イターの教育」「困った時  
に参考になる便利帳の作  
成」「加茂支所内に住民用  
のブース設置」などの提  
言も行った。



伸政会  
深山 國男



子育て支援を



木津川の堤防の危険性を認識せよ

近畿整備局の資料により把握済み

**Q** 木津川の堤防は、基準以下で脆弱。局地的大雨が多発するなか、積極的に堤防強化を訴えよ。

**A** 市長・建設部長 20年間補強工事を予定。強く要望していく。

**Q** 特別支援教育の拡充必要。発達障害が特別支援教育の中に位置づけられた。

**A** 支援員の配置など学校全体として体系的な取り組みの拡充が必要。養護学校児童の一層の地域交流が必要。ハンディがあっても地域の学校を自由に選択できる木津川



呉羽 真弓

市に。

**A** 教育長・教育部理事 すべての学校に配置したい。養護学校との話し合いを続ける。個々のケースに応じ、進める。

**Q** 3月末までの目標は清掃センター建設計画の進め方を提案す

る。候補地を面積だけでなく、すべて洗い出し、基準をつくり、市民を交えて絞り込みせよ。

**A** 生活環境部長 参考にし、検討する。

**Q** ごみ処理契約の改善を資源化物売払い料を次年度委託料に反映する契約方法を見直せ。委託業者により処理単価が違うのは、理解できない。

**A** 生活環境部長 とりあえず今の方法が最善。改善すべきはする。



早急な保育園整備を

保育園拡充と妊産婦健診は公費で

子育て世代に安全・安心を検討

**Q** 市長のマニフェストの一つ「子育て支援No1のまちづくり」を実現するために、国が示す「次世代育成支援行動計画」を木津川市として策定し、保護者ニーズに

明確に対応すると共に、その進捗状況を公表し、体系的に進めていく必要

がある。

また、園児の急増に対し、来年度の待機児童の対策を聞く。そして、子育ての第一歩である妊産婦健診については、14回すべての公費負担が当然と考えるが。

**A** 市長・保健福祉部長 「次世代育成支援行動



さくら会 倉 克伊

計画」は、旧町から引き継ぎ、前行動計画の必要な見直しを平成21年度までに、次年度から後期行動計画を策定し実施していく。

来年度は、待機児童の増加が予想され、市全体の受け入れ態勢の整備や木津中央地区の保育園の

早期開園に取り組む必要がある。

また、妊産婦健診の公費負担は、子育て世代に安全・安心を与えるためにも必要な事業であり、回数について、前向きに検討する。



堤防強化が急がれる砂でできた木津川の堤防



待たれるごみ問題の解決

核となる給食センターの建設を

自校式と二つのセンターで運営

**Q** 今回、泉川中学校用地を使って2500食規模の給食センターを新設するための設計費が予算計上されている。今後、生徒が増加するのは木津南地区である。給食のなかつた泉川中学校に給食実施できることはないが、将来的にも行財政

改革を進める中で、核となるような、8千〜1万食規模のセンターを建てる方が、コスト減となるのでは。現木津のセンターも築二十数年がたち、あちこちいたんできており、今回もコンテナ洗浄機の入替えに約2900万円の議案がでている。

どうする清掃センター建設

最も適切な計画を示す

**Q** 相楽地区5人の首長が環境施設に関する確認書を7月に交わした内容の疑問点を問う。相楽圏域で1施設という府のごみ処理広域化計画と、精華町とで進めている清掃施設建設は矛盾していないのか。新清掃センターは、郡

域のすべてのゴミを受け入れる可能性が大では。1市1町の施設より郡域で1施設の方が、国・府の補助額が多くなり、他町村からの分担金などもあるとの考えは。5首長で十分に協議しているのか。



さくら会  
出栗 伸幸

今後、空調設備や調理室の改修を行うとすれば4億円を上回るお金が必要だ。将来的にムダをなくすなら、木津川市全体を網羅できる1万食の調理能力を持つ施設を造って効率化を図っていくべきと思っただが。



イレブンの会  
高味 孝之

**A** 市長 西部塵埃組合で結論を出していく。5首長との協議は、将来的な方向とし話しをした。

**Q** 新型インフルエンザ対策人から人へ感染し、日本で発生した場合、3200万人が感染、最悪64万人が死亡すると推

計が出ている。生命と財産を守る義務のある市としての対策は。

**A** 保健福祉部長 市としては、国のガイドラインで役割が定められている。それに基づき必要な措置を講じる。府の指導のもと関係機関と緊密な連携をする。

**A** 教育長 木津南地区の生徒の著しい増加により、平成22年度の予測では約300食が不足する。緊急に新センターの建設が必要となった。市有地で最適地がなく泉川中学校内にした。行革の流れに沿っていると考

えている。あらゆる財源を活用したい。



調理数限界の木津給食センター



アイデアで安全確保対策の拡大を

市に合った安全対策を考えたい



さくら会  
吉元 善宏

**Q** 市内の小学校では、警備員配置で子ども

の安全確保がされている。保・幼・中学校まで警備員配置の拡大を望むが、厳しい財政状況のなか可能なのか。

**A** 教育長 小学校で実施の警備員配置を、保・幼・中学校まで拡大

実施すると約6000万円が必要となり、市の財政状況を考えると実施は難しい状況である。本年の小学校警備委託料は2100万円予算計上している。

**Q** 大阪の私立保育園が不審者の侵入を防ぐ

「手のひら静脈認証システム」を約200万円で導入する記事が掲載された。本市にはオムロン研究所もあり、業者との協働で新たな認証システムを、行革も進めながら削減した経費で開発できないかといった、企画があつて

も然るべきではないか。子ども達の安全を守り、外部からの侵入を防ぐ方は考えられないか。

**A** 副市長 提案頂いた「手のひら静脈認証システム」やオムロンとの協働で新たな警備方法も含め、最少の経費で子ども

の安全を守るものを調査・研究し、本市に合った安全対策を考えたい。



安全な交差点に

総合計画は市の特色をだせ

基本計画の実現性を高める

**Q** 総合計画の中間案が

だされた。市のまちづくりの大きな計画だ。恭仁宮跡の史跡公園・拠点施設整備は明記すべき。農業の振興は地産地消・食の安全など具体的な計画が必要ではないか。

**A** 市長 審議会で慎重に審議していただい

ている。

公共下水道事業計画は

合併協議で『瓶原地区は、次回の事業認可変更時に計画区域に編入し、事業化が図れるように調整する必要がある』の特記事項は重要である。



伸政会  
炭本 範子

**A** 上下水道部長 汚水処理は何らかの手法で行なう必要がある。

変則交差点改良を

**Q** 湾漂山トンネルが2010年に開通する。奥畑・口畑からの市道と

国道163号と木津・信楽線の交差点幅を要望する。

**A** 建設部長 府に要望したい。

**Q** 権限が1人に偏り、住民へのサービスを第一に考えず、行政が手を抜く制度で問題だ。住民への説明を求める。

**A** 総務部長 来年、区長会に修正すべき点はすると説明している。



見守られての登下校（木津川台小学校）



子ども達の未来がかかる教育委員会

原油高による支援対策は

府の支援策に基づき対応する

**Q** 原油高による諸物価の値上がりは、社会的弱者とされる高齢者・障害者の生活を圧迫。市は救済するための支援対策を打ち出すべきだ。

また、中小零細企業農業者に対する対策は、

**A** 市長 国・府の支援に基づき、抜本的な

対策を1日でも早く講ずるべく、対応を考えている。  
**生活環境部長** 府の「小規模企業おうえん融資」で支援する。  
**建設部長** 認定農業者から融資の要望があれば対応する。

全国学力テストの効果・成果は

確実に成果は出ている

**Q** 何を一番の基本教育と考えているのか。成果は出ているのか。

結果を分析し、以後の学習に生かしているか。テスト本位だけではないのか、人としての品格・人格・人の心・善悪を見極める教養はできているか。

**A** 教育長 知・徳・体・食を基本に生涯を通じて、生きる力・意欲・関心・向上心を培うを基本と考える。

**教育部理事** 市内すべてで大きな成果が出たとはいえないが、全体的には確実に出ている。正答率分布や問題別に



伸政会  
七条 孝之

意見箱の設置を

**Q** 市民の行政運営に対する関心が高まるなか、市民の埋もれている声、小さい声を拾い上げる窓口として、意見箱の設置を求めらる。

**A** 市長 意見箱として、ホームページの市長へのメールでも市民の意見を受け付けている。また、電話・FAXでも受け付けている。



イレブンの会  
中谷 裕亮

分析し、指導を見直し、改善を行っている。  
**教育長** 社会教育の充実、部活などを通じて、バランスのとれた人間形成を目的とした教育を行っている。

**Q** 清掃センター建設は経過と現状は。最終的に、やる気があるのか、ないのか。  
**A** 副市長 私をリーダーにチームを編成。19年8月から7回協議を重ね、北稲八間地区と「木津川市は解決策を検討し、21年3月末までに計画を提出する」との覚書を交わした。  
 市民生活に大きな影響を与える事案であるので計画を取りまとめる。



もっと市民の声を



幼稚園は希望者全員入園できるか

4歳児は入れるが3歳児は抽選に

Q 幼稚園児の募集状況は。全域でバス送迎できるか。公立幼稚園が不足なら私立幼稚園の補助金拡大を。

A 市長 4歳児は全員入園だが、3歳児は木津・相楽幼稚園が多く抽選になる。全地域の送迎は実施する。補助金の拡大は難しい。

安全で心豊かな給食を

Q 事故（汚染）米など、給食でも食の安全が脅かされた。食育基本法では、単独調理で地産地消の給食実施をうたっている。安全で豊かな給食の実施を。

A 教育長 給食で汚染米の使用はなかった。食育に取り組み、安全安心



日本共産党 村城 恵子

をさらに心がける。食育は学校だけではできない。家庭の食事も大事だ。

水道料金引き上げやめよ

Q 府営水道では、使っていない契約料金（空水）を毎年1億円以上払っている。この問題解決なしに、料金引き上げ

はすべきでない。

はすべきでない。

A 市長 空水の分は、料金統一の中には含まれない。

もっと環境を守る努力を

Q 里山は放置竹林など荒れている。具体的施策を。

A 市長 各団体と相談し進める。

総合計画中間案を問う

議員の意見を審議会に

Q 平成20年9月16日市長に答申された中間案に対し質問する。

地域の均衡ある発展には、旧町の人口予測が必要、どうなっているのか。

「農林産物の大型直売所の設置」の明記を。山城地域の都市拠点整備には、市街化区域の拡

大が不可欠、明記を。

A 市長 目標年次の人口は8万人、旧町別人口予測は行っていない。

「農林産物直売所の整備の支援を」と表現している。市街化区域の拡大は、都市計画マスタープラン



伸政会 西岡 政治

策定時に議論する。なお、議員の意見は審議会に報告する。

府から市への権限移譲は新分権一括法により、平成22年4月を

Q 新分権一括法により、平成22年4月を

ら移譲されると聞くが、どうなのか。府・市町村の協議状況は。

A 市長 ご指摘のとおりある。

現在「権限移譲推進会議」「同調整部会」などで協議中。

市の対応。府の財政支援、人的支援等協議中。



市街化区域の拡充を



みんなが入園できるように（木津幼稚園）



他の公共施設にも赤ちゃんルームを

遷都千三百年祭で恭仁京文化推進

実行委員会準備室を立ち上げ

**Q** 平城遷都千三百年祭の市開催にあたり具体的な考え方を問う。

**A** 市長 市内観光コースの作成、恭仁宮跡を会場に特産物販売、平城京と恭仁京を結ぶ文化講演など、実行委員会の準備を進めるため奈良市と協議に入っている。旧

3町を網羅する市観光協会の拡大と商工会の一本化など、多くの団体と連携協力のもと実施を考えている。

職員の意識改革が必要

**Q** 将来を見据え、市長が望む理想的な職員は。「広報きつがわ」で、

職員の意識改革が必要

が望む理想的な職員は。「広報きつがわ」で、

非核平和都市宣言の看板設置は

今年度中 早期にする

**Q** 昨年9月に非核平和都市宣言し、平和推進事業として、どのように取り組んでいるのか。

- ①啓発看板の設置は。
- ②原爆被爆者体験を聞く会を設けては。
- ③市民を広島に派遣（平和記念式典参加）しては。
- ④核脅威展を開催しては。

**A** 市長公室長 ①看板設置は早期にする。

- ②学校教育の現場において、平和と命の大切さを教え啓発を行う。
- ③現地へ行き、祈りをすることは非常に意義深いことであるが、派遣は考えていない。
- ④催しなどはしたい。



イレブンの会  
梶田 和良

市長の声を日記的コラムとして掲載しては。

**A** 市長 全体の奉仕者として、市民の立場・目線で物事を考え実践できる職員が必要であり、研修を充実し意識改革に努める。

広報紙への掲載は前向きに検討する。

その他、市営住宅の安全対策、ガス警報器設置条例の提案、市営住宅の災害時の対応など、各地域の要望事項を質問した。

くおことわり

梶田議員の記事関連写真が、各戸配布の「議会だより」と違っておりませんが、編集時のミスにより、本文とそぐわない写真を使用してしまったため、訂正をさせていただきます。

ご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。

（議会広報編集委員会）



公明党  
島野 均

赤ちゃん駅設置しては

**Q** 親と赤ちゃんが一緒に公共施設を訪問して、ベビーベッド、おむつがえの場所はあるのか。

**A** 市長 新庁舎においては、一階に赤ちゃんルームを設置した。それ以外の支所、図書館、

公民館、交流会館にはない。年次計画で考える。

携帯電話回収の実施を

**Q** レアマタル再利用のため携帯電話を回収しては。

**A** 生活環境部長 今は今後の法整備の状況も踏まえ判断する。



遷都祭の恭仁宮で市観光アピールを



21世紀のこれからの地域防災は

市長先頭に災害想定防災訓練実施



さくら会  
阪本 明治

**Q** あってはならない使命感の欠如は、何事も命に拘ること。「何とかしなければ」の愛情と情熱と誠実の欠如。無神経な「問題ないやろ」の感覚が大問題。そこで、地域防災を見直す上で地域アセスメント調査をし、

分析し、集約した情報を、

行政と地域で共有し、平常から皆で関心を抱き、自助・互助・公助で災害を語る事が防災対策に繋がるのでは。

**A** 総務部長 マニユアルを整備し、府と連携をとり、広く市民に情報提供しながら、地域と共に取り組む。

安全な街づくりに交番を

**Q** 南加茂台などにも対応できる最適地として木津南に交番を。また、交通安全施設の整備を早急に。

**A** 市長 人口増加を踏まえ、早く安全安心な街になるよう、府と連

携を図り、強力的に要請する。

市債を信頼協力の指針に

**Q** 「あなたの資金を木津川市の街づくりに活かしませんか」という市債（仮称）「木の津未来債」の発行で市民の財政への関心を高め、健全な目的でムダをなくすべきでは。

**A** 市長・総務部長 住民協働の街づくりに有意義と考え、検討する。



木津南地区に交番を

どう使う加茂支所と当尾保育園

公共施設の役割を考慮に入れる

**Q** 新庁舎の完成に伴い支所機能のみの業務となり、加茂支所では多くの空き施設ができたが、その活用は。また当尾保育園の活用は。

**A** 市長 支所執務スペースを確定した上で、公共施設としての役割を考慮に入れて、住民の利

便性に配慮した利活用を検討している。

**保健福祉部長** 当尾保育園は、できるだけ地元の方と話し合いをするなかで、地元で使ってもらうのが一番いいと思っています。課題はあるが、今後、役員と話し合いをしていきたい。



伸政会  
山本 喜章

法定検査は行政負担で

**Q** 三つの公共下水道の使用料金の統一を図るに当たり、公共下水道の使用料と、合併浄化槽処理にかかる管理料には、格差がある。格差是正と水質管理の観点から、法定検査費用は行政が負担すべきである。

**A** 生活環境部長 し尿汲み取り利用者は汲みとり料、公共下水道利用者は下水道使用料をそれぞれ負担している。浄化槽利用者にも同様に負担を願いたい。



新しい活用を（加茂支所）



走るSL（関西本線）

教室の暑さ対策を急げ

扇風機設置は23年で完了

**Q** 扇風機設置を急げ。工事を5月の連休に。緑のカーテンやドライミストで室温を下げよ。

**A** 教育長 今後3年で完了する。可能かどうか検討する。ミストは今後の課題。

**Q** すぐ妊婦健診5回無料に。国は来年度14回無料予定。すぐ5回無料に。

**A** 市長 回数、財源を検討中。助産院も補助対象に。利用状況を調査し検討。

**Q** 平和都市宣言の啓発を。平和都市宣言の啓発塔を。

地震は待ってくれませんか

耐震改修事業の実施に向け検討

**Q** 3月議会の質問以後、耐震改修助成制度の創設に向けての取り組みは、どうなっているのか。

**A** 総務部長 府の制度の基準は高く、地震が起こっても一応倒壊しないとされている。60万円の補助金がつく。申請

者の負担が若干多くなっても、居住者の安全性が確保されるので、ポイント1・0の基準で改修事業を進めることが妥当だと判断している。耐震改修事業の実施に向け、府の制度助成基準の導入の検討を進め、できるだけ早い時期に実施していく。



日本共産党

森岡 謙

**Q** SLを今に3町合併で文化財や史跡の多い本市は、これから観光に力を注いでいくなか、鉄道のまちとしてのアピールも必要だ。

**A** 生活環境部長 当市の観光を推進していく上で、SLの運行・活

用は一つの有効な手段である。関西本線でのSL運行は、軌道など極めて困難である。鉄道を活かしたプランについてはいろんな方法がある。今後ともJRをはじめ鉄道OB会等との連携を進めていきながら考えていく。



日本共産党

宮嶋 良造

**Q** ごみ減量で小さな施設。生活環境部長 検討中、特定地はない。住民理解の方策も検討。ごみ処理の広域化と環境共生とは矛盾しない。

**Q** 黄色の横断旗の設置を。木津川台や梅美台で無信号の交差点に横断旗を。交通指導員の配置を。高齢者の免許返納策を。

**A** 総務部長 要望や連絡で設置する。要望や教育部長 今以上は、財政上困難。市長 ぜひ研究する。

**Q** 13年に答申された中央体育館周辺も候補地か。新施設は住民の意見を反映し、合意が不可欠。



快適な学習環境を



# わたしの意見



早川 久代 さん  
(加茂町駅東)

## おいしい給食を「ありがとう」

子供を育てる親にとって、毎日の食事には気を配っているつもりですが、つい忙しくて野菜不足になりがちです。子供達の通う小学校、保育園の献

立を見るといつも「ありがとう」の気持ちでいっぱいになります。地元野菜を使ったおいしい給食を子供達もいつも楽しみにしていて、お互いに今日の給食自慢をし合っている時もある程です。試食会では作り方も教えて頂けるので、家でもおやつはできる限り手作りを心掛けています。子供達の成長の手助けをありがとうとございます。

このコーナーへの投稿を、お待ちしております。



川元 康弘 さん  
(兜台)

## 木津川市の救急医療の行方

徳洲会病院が着工したと思ったら計画の白紙撤回が聞こえて来た。聞けば申請したベッド数が認められず、経営できない

ためとか。誘致しとして行政の裁定で計画が中止なんてペテンではないか。木津川市には国や京都府にパイプは無いのか？それとも言いなりか？徳洲会病院の24時間救急医療体制に期待してたけど結局今までどおり。土日の夜に外科手術が必要な急患は宇治市内の病院に搬送されるとか。病院が少なくてタライ回しにされないのが救いかも？背筋が寒くなる話だ。



伊井野貴史 さん  
(山城町平尾)

## 散歩の効用

最近少々メタボ気味になつてきたので、週末に散歩をしている。木津川や不動川沿いを一時間ほどかけて散歩をする。夕暮れ時のすばらしさは格

別で、このような美しい町に住んでいてよかったです。しみじみ思う。平日はけっこうハードなので、週末の散歩は私には最高の癒しとなる。仕事上のいいアイデアを思いつくこともしばしばで、この半年で3kgほど減量することもできた。市のシンボルでもある木津川がいつまでも美しくあってほしいと願ってやまない。

## お知らせ

12月定例会は3日(水)からはじまります。

## 編集後記

いつやるうか、11月にはあるやるうか、来年までのびのびとちがうか... 衆議院の解散・総選挙について、市民の間でも話題になっていきます。これほど人々の関心を呼ぶ総選挙はめずらしいのではないのでしょうか。

今議会も大変活発な審議のあった議会でした。今回より「議会だより」

は、本会議や委員会採決の賛成・反対人数を明記するように改善しました。皆様のご意見をお聞かせください。

酒井 弘一

## 広報編集委員会

委員長 村城 恵子  
副委員長 呉羽 真弓  
委員 伊藤 紀味枝  
島野 均  
炭本 範子  
酒井 弘一  
倉井 克伊  
曾我 千代子